

# 競技運営注意事項とお願い

1. 本大会は、2019年度日本陸上競技連盟競技規則、本大会要項及び下記事項により運営する。  
又、本大会は、(財)日本陸上競技連盟広告規定を適用する。
2. 参加資格 (1)2019年度山口陸上競技協会に登録している競技者及びふるさと登録競技者であること。  
(2)年令基準  
成年の部 平成13年4月1日以前に生まれた者。  
少年Aの部 平成13年4月2日以降平成15年4月1日までに生まれた者。  
少年Bの部 平成15年4月2日以降に生まれた者。但し、中学生は、3年生のみ参加できる。
3. 招 集 招集所(競技者係)は、第2ゲート外側に設ける。招集の時刻は  
トラック競技 競技開始時刻の30分前に開始し、20分前に完了する。  
フィールド競技 競技開始時刻の50分前に開始し、40分前に完了する。  
但し、棒高跳は競技開始時刻の70分前に開始し、60分前に完了する。  
競技者は招集時刻には招集所に集合すること。代理は認めない。招集時刻に遅れた場合は棄権とみなす。
4. トラック競技の800mにおいては、腰ナンバー標識(主催者準備)を使用する。  
招集時に競技者係で受取り、右腰に付けること。  
跳躍競技の競技者は、ナンバーカードを背または胸につけるだけでよい。
5. トラック種目において、予選の段階で参加者が棄権して9人以下になった場合は決勝の時刻に決勝を行う。
6. ナンバーカードは次の番号を記入したものを、胸・背につけること。  
一 般 山口陸協の登録番号  
高校生 高体連登録番号  
中学生 山口陸協が設定した番号(プログラムを参照のこと)  
大学生 原則として学連登録番号を使用するが、他の部門と重複する場合は  
山口陸協が設定した番号(プログラムを参照のこと)  
\*ナンバーカード布は受付で販売(100円)する。(サインペンは備え付け)
7. バーの上げ方  
走高跳(男子)少共 練習1.60 競技1.65 1.70 1.75 1.80 1.85 1.90 1.95 2.00 2.03・・・  
走高跳(女子)成年 練習1.35 競技1.40 1.45 1.50 1.55 1.60 1.65 1.68・・・  
走高跳(男子)成年 練習1.65 競技1.70 1.75 1.80 1.85 1.90 1.95 2.00 2.03・・・  
棒高跳(男子)少A 練習( ) 競技3.00 3.20 3.40 3.60 3.80 4.00 4.10・・・  
棒高跳(女子)成年 練習( ) 競技1.80 1.90 2.00・・・  
任意の高さとし、2段階の高さで行うこともある。
8. スパイクシューズのスパイクは、全天候舗装用でその長さは9mm以下とする。但し、走高跳・やり投は、12mm以下とする。
9. 用器具 (1) 少年男子共通110mHのハードルの高さ/ハードル間は、0.991m/9.14mとする。  
(2) 少年女子B100mHのハードルの高さ/ハードル間は、0.762m/8.50mとする。  
(3) 少年女子A100mHのハードルの高さ/ハードル間は、0.838m/8.50mとする。  
(4) 少年男子A400mHのハードルの高さは、0.914mとする。  
(5) 少年男子B砲丸投の砲丸の重さは、5.000kgとする。  
(6) 少年女子共通砲丸投の砲丸の重さは、4.000kgとする。  
(7) 少年男子共通円盤投の円盤の重さは、1.750kgとする。  
(8) 少年女子共通円盤投の円盤の重さは、1.000kgとする。  
(9) 少年男子Aハンマー投のハンマーの重さは、6.000kgとする。  
(10) 少年男子Aやり投のやりの重さは、800gとする。  
(11) 少年女子共通やり投のやりの重さは、600gとする。  
棒高跳のポールを除く用器具は主催者が用意したものをを使用すること。但し、個人所有の投てき用器具を使用したい場合  
競技開始1時間前までに係員の検査を受けること。その場合、合格したものは主催者が預かり、出場者全員が使用できるも  
とする。検査場所は用器具庫1(第4ゲート横)で行う。競技終了後同場所で返却する。
10. 大会開始前の競技場内での練習は9時00分までとする。ハードルの練習は、100mH及び110mHはホームストレートの6~9レー  
を使用する。また400mHはスタートから3台目までとし、6~9レーンを使用する。(女子:6・7 男子:8・9レーン)  
棒高跳は10時00分まで練習を認める。  
また、競技終了後の競技場利用は18時までとする。
11. 補助陸上競技場での練習は8時から競技終了までとする。1・2レーンは中距離練習、3~5レーンはスタート練習、  
6~8レーンはハードル練習とする。ハードル設置はスタートから3台目までとする。
12. 補助陸上競技場でのやり投の投てき練習は12:50~13:30(男子)及び14:20~15:00(女子)のみ可とする。  
また、ちよるる広場でハンマー投、円盤投の投てき練習ができる。いずれも役員の指示に従い、安全には十分注意して行う
13. 11:00~12:30の間、バックストレートでハードルの練習を認める。係員の指示に従って行うこと。
14. 雨天練習場走路の利用は一方通行(東から西)とする。逆走は危険なので絶対に行わないこと。
15. 競技会中に生じた事故等については、主催者は応急処置のみ行なう。
16. 競技者が走行不能(即ち歩いたり、立ち止まったり、倒れた状態)となった場合は、本人がなお競技続行の意思をもつて  
いても、審判長(または権限を委譲された審判員)から中止を命ぜられた場合は、直ちに競技を中止しなければならない。
17. 競技場内は全面禁煙です。競技場内にゴミ、弁当の空き箱、空き缶などを絶対に放置しないようにして下さい。